2・3面　特集記事
New Education of YOKOHAMA
～のぞいてみよう 明日の教室～
3面コラム　ここに母校あり～未来へはばたけ～
横浜市立上菅田特別支援学校

第163号
# PTAよこはま
発行日／平成31年2月22日　発行者／横浜市ＰＴＡ連絡協議会　横浜市中区港町1-1 横浜市教育委員会内 TEL662-7080 FAX662-6084　編集／平成30年度 常置広報委員会

祝

## 横浜市ＰＴＡ 創立70周年記念式典

横浜市ＰＴＡ創立70周年記念式典が関内ホールにて開催されました。市Ｐ連海上良太会長の挨拶に始まり、荒木田百合副市長、横浜市会議長、横浜市教育委員会教育長、横浜市立中学校長会会長、歴代会長代表より祝辞が贈られました。続く記念講演では、つるの剛士氏をお招きし、つるの流子育てについてご講演いただきました。また、ロイヤルホールヨコハマにて祝賀会も行われました。

記念講演　つるの剛士さん

### 「我が子を幸せな人に育てる方法 つるの流子育てとは」

●Profire
つるの剛士さん
「ウルトラマンダイナ」
アスカ隊員役を熱演後、俳優、タレント、歌手として活躍中。二男三女の父親で2度の育児休暇取得を経験。

**育児は親も育つもの**

現在、14歳の長男、12歳、11歳、8歳の女の子、2歳の次男の子育て真っ只中であるつるの剛士さん。ざっくばらんなお話は、MCとの和やかなトーク形式で進み、手話での通訳とパソコン要約筆記も入りました。育児マニュアル片手に奮闘するところから始まった子育て。二人目では一人目の経験から熱を出しても安心していられるほどに。5人目ともなると「さあ、免疫をつける時期がやってきました」と喜ぶくらいになり、5人の子育てを通して経験値をあげてきたそうです。親として子どもを育てるだけではなく、子どもとともに親も育つ意識を大切にしているとのこと。子どもが産まれていきなりイクメンになれるお父さんなどいるはずもなく、これまで奥様と一緒に育児をしながらたくさん喧嘩もして、少しずつ経験を重ねてきたからこそ、今のつるのさんがあるとのこと。「夫婦で同じ方向を向き、同じ目標を持って進んで行くことで、ともに育っていけたら」とご自身の体験を交えながら講演は進みました。

**元気の源は両親から**

「パパとママの子なんだから大丈夫」というご両親の言葉が、ご自身の原動力となっていたつるのさん。育児休暇を取ることに不安は無かったのだとか。大切なのはご自身で育児を経験することでした。2度の育児休暇を通してよかったと感じていることは、奥様の理解者になれたこと。子どものいる日常がいかに大変であるかがわかり、経験値が上がる有意義な時間だったそうです。

現在つるの家は小学校に3回目のＰＴＡ活動に参加中。「育児は、家庭が中心ではあるけれど、ＰＴＡや学校、地域の方とともに協力して子どもの成長を見守っていきたい」と笑顔で語り、講演会は幕を閉じました。

盛大に行われた祝賀会

ご挨拶される荒木田副市長

平成30年11月５日、第10回横浜市ＰＴＡ連絡協議会三行詩コンクール入賞作品が決定しました。応募総数1183作品。１次審査・最終審査を経て、今年度の優秀作品が選ばれました。教育長賞と会長賞は12月15日、横浜市教育会館にて表彰式が行われました。授賞式後、作者や家族から作品の背景や思いが語られました。市Ｐ連会長は「ふだんから感じていないと文章に表現できません。家族との関係が素晴らしいのでしょう」と話しました。世代を越えて応募された作品も入賞しました。どの作品も心温まるものでした。
来年度もすてきな作品に出会えるのが楽しみです。

市Ｐ連

## 三行詩コンクール

◎三行詩とは…
日ごろの思いや意見などを三行程度の短い文章にしたものです

「命の大切さ」
「みらい」
「家族のきずな」

やったね！ ご家族での
Ｗ（ダブル）授賞

### 教育長賞 一般の部

「俺のばっちゃん最強だから」
魔法の声に背中を押され
酷暑の夏を乗り越えられた
横浜ばあば（川上小・秋葉中）

### 会長賞 一般の部

「輝いている未来がいいな」と書いた娘
何があっても、何が無くても
あなたの命は輝いています
今別府尚美（東中田小）

自閉症の息子よ、こだわれこだわれ、
とことんこだわれ。そのこだわりに、
母はどこまでも付き合うから。
口石由吏江（港南台ひの特別支援）

「大切にするからね。」
産まれたばかりの弟を抱きながら
こう語りかけた、ちっちゃなお兄ちゃん。
ありがとう。
小林智子（矢向小）

あなたが産まれたその日から
私の人生に色がついた
とっても素敵な色がついた
野村宏代（菊名小）

子どもの未来を見たいから
今は痛いの我慢して
私は病気を治します
飯嶌理恵（菊名小）

### 教育長賞 児童生徒の部

僕が笑うと母は優しくなる
母が笑うと家の明かりが増してくる
父が笑うと心強くなる
佐藤　煌（緑小６年）

小さくなった母の背中
強くなった私の力
何枚がいいかな肩揉み券
小宮瑠楠（泉が丘中３年）

### 会長賞 児童生徒の部

せんそうは、いのちもなくなる。
たべものもなくなる。いえもなくなる。
みらいもなくなる。すべてなくなる。
小見山琴羽（東汲沢小１年）

見つかってよかった2さいの子。
ぼくのおとうとと同じ年。
しっかり手をつないであるくようになった。
中すゆうじ（緑小２年）

うまれたときはしにそうで、
しあわせにそだってほしいと思われた
わたしの名前は育幸です。
松本育幸（小田小２年）

つらい時、ママは話を聞いてくれる。
パパはだっこではげましてくれる。
だからぼくは、ニッコニコ。
つか田とよみち（相武山小２年）

おとうとがうまれた。
少しのさびしさと、
たくさんのしあわせ。
田村心美（原小３年）

新盆のおくり火を消す夕立ちに
まだみんなといたいよ、
ときこえた祖父の声
陽菜乃（緑小６年）

反抗期　親との間にできるかべ
でも親の愛情は
かべごしに伝わってくるよ
しろくま（能見台南小６年）

母と言い合いしていると
兄がそわそわしはじめて
私に助け舟を出してくれる
お兄ちゃんありがとう
小林羽衣（秋葉中２年）

〝死にたい〟そう声に出して言ったけれど、
胸に手を当てれば〝生きたい〟
そう命は叫んでいるんだよ。
齊藤麻衣子（富岡東中３年）

なんでもできるお兄ちゃん
四年経つとお兄ちゃんの歳でもやっぱり
お兄ちゃんは四年先にいる。頑張れ私。
石濵　夢（茅ケ崎中３年）

ここに母校あり～未来に羽ばたけ～

## 横浜市立 上菅田特別支援学校

### 【enjoy ist。かながわ】創刊

横浜市立上菅田特別支援学校は1974年４月に設立され、2019年に開校45周年を迎えます。

ＰＴＡは開校同年９月に発足し、「子どもたちの充実した学校生活をサポートすること」「会員相互の連携や交流を深めること」を重視して、活動を続けています。

役員会では、毎年夏休みに「夏のつどい」を開催しており、ＰＴＡ会員が家族で参加して音楽や演劇の鑑賞などを楽しんでいます。秋には地域の皆さまや企業からの協力を得て、「ＰＴＡバザー」を開催しています。

学年学級委員会は主にＰＴＡバザーの売り場を取りまとめ、また、ほかの委員会と合同でイベントを開催しています。成人教育委員会は、会員間の親睦を図る交流会のほか、介護や公的制度に関する勉強会や余暇活動についての講習会などを開催しています。進路委員会は、高等部卒業後の進路に関する情報を収集し、施設見学会の実施や卒業生を招いて懇談会を開催しています。広報委員会は年４回広報誌を発行しており、行事やイベントなどの様子を校内外に向け発信しています。

近年仕事を持つ会員が増えていますが、小学部から高等部まである本校ではＰＴＡの活動が「学年・学部を超えた情報交換や相談の場」となっています。

また、今年度は本校保護者の呼びかけで神奈川県内の県立・市立肢体不自由特別支援学校有志10名が集まり、【enjoy ist。かながわ】を創刊しました。

黒岩祐治神奈川県知事とこども医療センター医師にインタビュー し、各種記事の取材・執筆から誌面のデザイン・レイアウトまでを保護者が担当し、１年半をかけて制作しました。

この本に、障害があっても外に出て様々なことを楽しんでいる子どもの姿を伝えることで、多くの方にいろいろな人がいることを知ってもらい、障害の有無にかかわらず手に取ってくださった方がそれぞれの新しい楽しみを見つけるきっかけになれば、という願いを込めました。

【enjoy ist。かながわ】を制作することで、あらためて様々な方との“つながり”のあたたかさを感じました。子どもたちは、多くの方とつながって日々を健やかに過ごせています。これからも子どもたちが元気に毎日を楽しめるよう、“つながり”を広げていけるＰＴＡ活動ができればと思います。

【enjoy ist。かながわ】書店・ＷＥＢにて注文できます。

## あなたの夢はなんですか？ ◆プロジェクションマッピング◆

上白根中学校（旭区）

横浜市で唯一、継続的にプロジェクションマッピングを制作・公開している上白根中学校。始まりは３年前の文化祭でした。以前から生徒たちの間では、「プロジェクションマッピングを制作したい。」との声はありましたが、専門的な知識が必要なため、なかなか実現しませんでした。そんな時、元美術教諭の相原裕校長先生が赴任されると、アシスタントティーチャーとして来校されていた横浜美術大生の星宮僚太郎さんのご協力のもと、情報科学部と美術部の生徒でプロジェクションマッピングの制作が始まりました。

最初の２年間はアシスタントティーチャーの指導を中心に制作していましたが、３年目の今年は、生徒間でも先輩が後輩に教える姿も見え始め、生徒主導でテーマから絵コンテ、音楽まで手掛けました。

プロジェクションマッピングは毎年冬に上白根中学校（旭区上白根町）で一般公開もされ、ＰＴＡの皆さんは、生徒たちの夢の詰まった

文化祭で公開されたプロジェクションマッピング

夢を乗せた紙飛行機が様々な出会いや困難を乗り越えていく物語

プロジェクションマッピングを応援するため、一般公開のお手伝いをされています。

上白根中学校のプロジェクションマッピングは、生徒たちや協力してくださる相原校長先生や横浜美術大生・教職員・ＰＴＡの皆さんの夢の詰まった作品でした。

## 「アクティブラーニング」って、なに？

### 《主体的・対話的で深い学び》

現代社会は、テストの点数が取れる人ではなく、グローバルでかつ、学んだ知識を最大限発揮できる人材を求めるようになってきています。

そこで、教育のあり方にも変化が求められる中、横浜市では次のようなことを教育ビジョンとして掲げています。

**横浜教育ビジョン2030**
**「自ら学び　社会とつながり　ともに未来を創る人」**

今回、このビジョンの実現に深く関係するアクティブラーニングについて、横浜市教育委員会指導部教育課程推進室丹羽正昇首席指導主事と、岸田薫主任指導主事へお話を伺いました。

**Q：アクティブラーニングとは？**

**A**：これは「主体的･対話的で深い学び」という授業をしていきましょうという考え方です。講義型の受け身の授業から、児童生徒が問題意識をもって、より主体的に学ぶことを象徴しています。小中学校では、主体的な学びの活動がつくられるような工夫がすでに行われています。

**Q：先生方の取組は？**

**A**：横浜市が策定した「横浜教育ビジョン2030」を受け、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて「横浜市立学校　カリキュラム・マネジメント要領」を作成、配付しました。また、「授業づくりガイド」も配付し、授業のブラッシュアップに取り組んでいます。

**Q：実施の目的は？**

**A**：これからの時代、だれかに何かを教わらなければ動けないということではなく、何が問題でどのように解決できるかまでを自ら考える力が必要です。課題を発見し、みんなでコミュニケーションを取りながら解決していくなかに、実感と達成感を味わえる学びを実現していきます。

今回の取材を通して、子どもたちのこれからの学びを知ることができました。

保護者としては、楽しみながらいろいろなことを学んでいってほしいと思います。

横浜市から、より多くの子どもたちが世界で活躍できるよう、期待しながら見守っていきたいです。

## 知りたい！ 新しい英語教育!!

2020年より全国で実施される新しい学習指導要領に基づく英語教育。「一体どんな授業になるの？」という保護者の目線から、横浜市教育委員会国際教育課加納浩平係長と西村秀之指導主事にお話を伺いました。

**Q：横浜市では国（文科省）に先駆けて、英語教育・国際教育をいち早くスタートしていますね。これからの英語教育について、横浜市がめざしているものを教えてください。**

**A**：歴史的背景、土地柄も関係していますが、横浜市では昭和62年から国際理解教室を導入しています。現在では小学校１年生から６年生まで、AET（外国人英語指導助手）と英語に**慣れ親しめる**授業を行っています。今後もこれまでと同様に慣れ親しみながら英単語やフレーズをたくさん「**聞く**」「**話す**」という中で、「**読む**」「**書く**」へ自然につながるような授業を展開していきます。中学へスムーズな接続ができるよう、1年から6年までを通して、自然にくりかえし英語に触れることができるカリキュラムの作成が大切になってきます。また中学校では、AETを多く配置した特別プログラム「スーパーイングリッシュプログラム」がすでに横浜市の全校を対象にスタートしています。

これからは「英語を使って何ができるのか」が大切になります。英語を覚えることではなく、英語を手段として活用しながら自らかかわり、多様性を尊重し、協働、共生できるような子どもたちを育んでゆきたいです。

◀横浜市中学生英語祭〈English Festival〉は市の英語科教員で組織される研究会とタイアップして、毎年８月に実施しています。２年前より内容を一新し、１日かけ少人数でAETと共に、課題解決に取り組みます。（延べ２日間実施）

**「子どもたちが生き生きと英語を使う場」の国際教育課による実施例**

小学校・英語村（希望校で実施。平成30年度は19校が希望）
中学校・英語祭〈English Festival〉（参加希望者を募り実施。平成30年度は２日間で125名が参加）・SEPRO［Super English Program］（一つの教室に複数名のAETが入る授業。各学校で計画し実施）

**Q：子どもたちが英語に興味を持ち、楽しく学べるよう、先生方も工夫をされているのですね。**

**A**：小中学校が共通理解を図り、９年間を見通したプログラムを策定しています。より良い英語の授業づくりのための研修も充実させています。選ばれた学校や一つの地域ではなく、横浜市の全校で同じく質の高い授業を受けられるよう、2017年よりワークショップ形式で教員の研修を積み重ねています。

横浜市では全国でもトップクラスの素晴らしい国際教育・英語教育がなされていることを実感しました。もっと英語教育についての情報に耳を傾け、保護者として共有してゆくことが大切に感じます。先生方、教育委員会の皆さまにあらためて感謝しつつ、私たちも一緒に授業を受けたい気持ちになりました。

## 一歩先ゆく英語教育「帷子英語村」

帷子小学校（保土ケ谷区）

帷子小学校では、土曜参観の授業をすべて英語で行う「英語村」を６年前から実施。学校全体をホーンテッドスクールと称して、他の教科と関連した外国語活動の場を設置しています。教科化を控え注目される英語教育をどう実践しているのかを取材しました。

朝９時、英語による校内放送が流れ、児童たちが体育館に集まってきました。仮装した姿も多く見られます。外国人ボランティアの方に英語で話しかけ、パスポートにスタンプをもらったら入村式の始まり。児童による司会も校長先生のお話も、もちろん英語です。

入村式が終わったら、たて割りのグループごとに、６年生のリードで各教室を回ります。どの学年でも英語で楽しめるオリジナルの活動。通常よりも、コミュニケーション重視の内容を先生方全体で考えています。

各教室で活動を担当する、AETの先生と様々な出身国のボランティア

英語村のパスポート

ＰＴＡによる飾りつけ

英語に対する苦手意識を少しでもなくし、英語を聞いたり話したりすることを目指しているそうです。

外国語活動担当の先生にうかがったところ、この「英語村」では、通常の英語の授業よりも積極的に英語でコミュニケーションをとる姿が見られるとのこと。にぎやかに装飾された校内に、思い思いの仮装をした先生や児童。その非日常的なふんい気の効果もあるのでしょうか。

帷子小では、通常の外国語活動にも力を入れています。特に聞く機会と自分で考える機会を多く作ることで「英語を伝えたい」という思いをもてるような授業づくりをされているそうです。校内には英語で書かれた掲示物も多数あり、普段から英語が自然に目に入る工夫がされていました。

中学校での様子を見た先生や保護者の印象では、帷子小の卒業生は、英語に対する意欲が高く、話すことも得意な傾向があるとのことでした。

体育館で行われた活動。３年生のまち探検の学習を活かして、英語で道案内

平日開催の2年間を経て、土曜参観（理科の授業）

廊下にもアクティビティを用意（写真はブレスレットづくり）

### ＊「英語村」を支えるＰＴＡ

校内を彩り、気分を盛り上げる華やかな飾りつけは、ＰＴＡの保護者によるもの。各教室で使われる教材も、先生と連携して作成します。当日は、受付や校内案内を担当します。

KidZania Tokyo
この春は キッザニア東京 へ行こう！
© KidZania
横浜市限定！ キッザニア東京を特別価格でご案内します！
新たなスタートをキッザニアで切る皆様を応援！
期間 2019年3月～4月の対象日
詳細・予約は右記専用サイトへアクセス▶▶
住所 東京都江東区豊洲2-4-9 アーバンドック ららぽーと豊洲 3階 www.kidzania.jp/tokyo お問い合わせ キッザニア東京インフォメーションセンター 0570-06-4646 (9:00~18:00)

PC、スマホ、タブレット…いつでも どこでも
神奈川新聞電子版
神奈川新聞の購読（電子版・本紙宅配）のお申し込みは
ウェブサイト「カナロコ」へ
www.kanaloco.jp
カナロコ 検索
神奈川新聞社デジタルビジネス局
☎045-640-0125（平日の10時～18時）

神奈川土建 横浜市協議会
安心の住まいづくりは地元の建設組合へ
全県20支部 45年の信頼と実績
☎045-453-9806 横浜市神奈川区神奈川2-19-3
この町に暮らしこの町で働く
神奈川土建は建設の仲間でつくる組合です

高野山金剛峯寺 襖絵完成記念
千住博展
日本の美を極め、世界の美を拓く
SENJU HIROSHI
COMMEMORATING THE COMPLETION OF FUSUMA PAINTINGS FOR KONGOBUJI TEMPLE, KOYASAN
高野山金剛峯寺襖絵《滝図》（部分）2018年　高野山金剛峯寺蔵
中学生以下入館料無料
ご優待割引券（2名さま）
会期中、本券1枚につき1面様り2名さままで。下記金券料金にてご入館いただけます。
◎大人1,300円→1,100円
大学・高校生800円→600円
2019年3月2日(土)—4月14日(日)
開館時間 午前10時—午後6時 ※入館は閉館の30分前まで
3月2日(土)は午前11時—午後6時
そごう美術館
横浜駅東口 そごう横浜店6階
そごう美術館 検索

## 第62回PTA 音楽交歓のつどい
### 平成30年11月14日～16日

今年度も横浜市ＰＴＡ連絡協議会主催の「第62回ＰＴＡ音楽交歓のつどい」が開催され、64グループが参加しました。この催しは市内のＰＴＡコーラスグループが年に一度交流できる貴重な場となっています。

３日間の開催期間中、合唱だけではなく、バイオリンやふだん馴染みのないツリーチャイム、トーンチャイムなどの演奏もあり、繊細できらびやかな音色で客席を魅了していました。また、静かなアカペラ合唱から一転、２曲目で軽快な振り付けの曲を披露したグループは選曲の意外性で観客を盛り上げていました。

「来年は孫と参加予定です！」とお話しをされるメンバーがいるグループは、今まで30回以上も参加されているそうです。一方、今年４月に発足し、初参加というフレッシュなグループもありました。伴奏を含め５名のメンバーでしたが、その力強い歌声を場内は温かい雰囲気で見守っていました。

「ＰＴＡ音楽交歓のつどい」は、音楽を通じて出演者と観客が実際に顔と顔を合わせ、絆を深められる活動です。出演者の皆さんの心を一つにしたハーモニーはもちろん、観客の皆さんも、笑顔で身体を揺らしたり手拍子をしたりと、まさに音楽を通じた交歓の場となっています。

３日間を通じて、美しい歌声や音色がホールに響き渡り、どのグループもイキイキと達成感に満ちた表情が印象的でした。音響設備が整ったホールで発表する機会をもつことは、日ごろの練習の意欲向上にもつながるのではないでしょうか。

来年も多くのグループが集い、表現の楽しさや人と人とのつながりの温かさを感じられる催しとなることを願います。まだ出場していないグループも、次回は参加してみませんか？

皆でいっしょに決めポーズ！

息を合わせて素敵な音色を奏でました

裏方で支えてくれた事業研修委員の皆さん

他のグループの演奏も良い刺激となり毎年楽しみにしています。

全体合唱のピアノ伴奏をアレンジして一味違ったものにしましたが、皆も楽しんでくれたようで良かったです。

## 横浜市ＰＴＡ連絡協議会研修会
## 個人情報の取扱い～改正個人情報保護法施行と対応の基礎～

10月16日、関内ホールで銀座パートナーズ法律事務所の弁護士である岡本正先生を講師にお招きし、「個人情報保護法改正」に伴う研修会が開催されました。約400名のＰＴＡの皆様が参加しました。

改正個人情報保護法の改正前と改正後のちがいについて、項目ごとに説明がありました。改正後はすべての事業者に個人情報保護法が適用されるため、ＰＴＡや自治会なども該当します。個人情報を集めるとき、保管するとき、第三者に提供するときのルールなどを教えていただきました。最後に参加者から、広報誌の写真の載せ方や、学校やＰＴＡに提出された書類の個人情報の取扱いについて質問がありました。利用目的を明記しそれ以外に使用しないなど、法律に基づいた正しい取扱いが重要です。組織内での研修などを実施し、一人ひとりが意識して個人情報を適切に扱うことの大切さを学びました。

## 平成30年度優良ＰＴＡほか受賞校・受賞者

### 文部科学大臣表彰

**◇団体**

| | |
|---|---|
| 横浜市立白幡小学校ＰＴＡ | 神奈川区 |
| 横浜市立上飯田小学校ＰＴＡ | 泉区 |

**◇個人**

| | | |
|---|---|---|
| 栗原　秀泰 | 市Ｐ連元会長 | 都筑区 |
| 森川　智之 | 市Ｐ連元会長 | 港北区 |
| 生田　麻実 | 市Ｐ連前会長 | 青葉区 |

### 神奈川県教育委員会表彰

| | |
|---|---|
| 横浜市立菅田小学校ＰＴＡ | 神奈川区 |
| 横浜市立上川井小学校ＰＴＡ | 旭区 |
| 横浜市立都岡中学校ＰＴＡ | 旭区 |
| 横浜市立篠原西小学校ＰＴＡ | 港北区 |
| 横浜市立城郷小学校ＰＴＡ | 港北区 |
| 横浜市立緑小学校ＰＴＡ | 緑区 |
| 横浜市立田奈小学校ＰＴＡ | 青葉区 |
| 横浜市立荏田南中学校ＰＴＡ | 都筑区 |
| 横浜市立都筑小学校保護者と教職員の会 | 都筑区 |
| 横浜市立中村特別支援学校ＰＴＡ 特別支援学校部会 | |

### 日本ＰＴＡ全国協議会会長表彰

**◇団体**

| | |
|---|---|
| 横浜市立緑小学校ＰＴＡ | 緑区 |
| 横浜市立田奈小学校ＰＴＡ | 青葉区 |
| 横浜市立都筑小学校保護者と教職員の会 | 都筑区 |

**◇特別功労**

| | | |
|---|---|---|
| 栗原　秀泰 | 市Ｐ連元会長 | 都筑区 |
| 生田　麻実 | 市Ｐ連前会長 | 青葉区 |
| 鈴木　秀高 | 市Ｐ連元副会長 | 南区 |
| 野澤　眞二 | 市Ｐ連元書記 | 緑区 |
| 相原　和行 | 市Ｐ連元副会長 | 瀬谷区 |
| 渡辺　祐子 | 市Ｐ連元副会長 | 港南区 |
| 亀澤　好子 | 市Ｐ連元書記 | 戸塚区 |
| 山下　久美子 | 市Ｐ連元副会長 | 保土ケ谷区 |
| 丸山　智美 | 市Ｐ連元副会長 | 戸塚区 |
| 星　睦 | 市Ｐ連元書記 | 旭区 |
| 土志田　浩 | 市Ｐ連元副会長 | 港北区 |
| 鈴木　信裕 | 市Ｐ連元会計 | 緑区 |

**◇個人**

| | |
|---|---|
| 安藤　秀朗 | 市Ｐ連前副会長・領家中学校長 |
| 柳澤　潤 | 市Ｐ連前副会長・戸部小学校長 |
| 荒巻　正則 | 市Ｐ連副会長 |
| 七海　雷児 | 市Ｐ連副会長 |
| 青木　潤 | 市Ｐ連書記 |
| 菅野　陽子 | 市Ｐ連会計 |
| 橋本　静江 | 市Ｐ連会計 |

## 平成30年度　全国小・中ＰＴＡ広報誌コンクール
## 写真賞　横浜市立西谷中学校ＰＴＡ（保土ケ谷区）

「写真賞」を受賞できて手放しで喜んでいます。特に表紙の写真は毎回みんなで楽しんで撮っていたので、嬉しさもひとしおです。

６月号の表紙は演劇部が「ささえあう」ポーズを頑張ってくれました。10月号は西谷中の伝統行事のドキュメント写真。そして学年末号は西谷中の第１期・第３期卒業生をモデルに担ぎ出し、ガクランをきてもらって呵々大笑の痛快ショット。

さらに特別号は『君へ贈る言葉』という、先生からの応援メッセージを添えた64ページに及ぶ写真集でした。

広報委員会って人気がないそうですが、実は一番面白いんですよ、ホントに。

西谷中学校ＰＴＡ
広報委員会前委員長
福田　敬道

## 第74回指定都市ＰＴＡ情報交換会【北九州大会】

平成30年９月13日・14日、北九州市で第74回指定都市ＰＴＡ情報交換会が開催され、横浜市Ｐ連から役員の代表と事務局が参加しました。１日目は、子育てシンガーｍｏｎさんによる全体講演会と、分科会に分かれての情報交換会が行われました。２日目は《食べることは生きること》をテーマに、西日本新聞社編成委員の安武信吾氏による記念講演「あなたは子どもに何を残せますか？」が行われました。５歳の誕生日から毎朝のお味噌汁を作り続けている娘さんのエピソードや、自分で作った弁当を持参する取組を行っている学校の紹介等、心に響く講演でした。

## 第66回日本ＰＴＡ全国研究大会 第50回日本ＰＴＡ関東ブロック研究大会【新潟大会】

平成30年８月24日・25日に、ＰＴＡ全国研究大会新潟大会が行われました。新潟県と新潟市のＰＴＡが関東ブロック所属ということで、今回は関東ブロック研究大会も兼ねて行われました。そのため、横浜市ＰＴＡからも72名という大勢の方にご参加いただきました。

「教育は未来を拓く新潟発米百俵の精神！」というスローガンの今回の大会に、７５００名の方が全国から参加、１日目は10会場でそれぞれの研究テーマによる分科会、２日目は新潟県三条市出身の俳優の高橋克実氏による講演が行われました。

大会の最後には、中越地震などからの復興を目指して行われるようになった、長岡の大花火大会のフィナーレ「フェニックス」のプロジェクションマッピングも披露されました。教育における取組や、震災からの復興のお話など、学びの多い２日間でした。

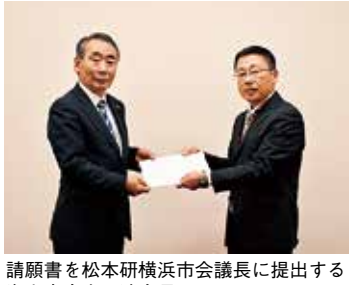
新潟大会シンボルマーク

## 教育予算の充実求め請願書提出

横浜市ＰＴＡ連絡協議会では、活動方針の一つとして教育環境の改善を掲げています。

その活動の一環として、子どもたちが安全安心な環境の下で充実した学校生活を送れるよう、教職員等人員や施設の増強に向けた教育予算の充実を求め、横浜市会へ請願しています。

今年度も平成30年11月29日、請願書を横浜市会へ提出し、12月19日市会本会議において採択されました。


請願書を松本研横浜市会議長に提出する海上良太市Ｐ連会長

## ……編集後記……

今号も多くの方々のご協力を賜り、無事に発行することができました。

初めて会うメンバーでの会議や現場への取材。不慣れな場でも皆で意見やアイデアを出し合い協力して、スムーズに取材活動を進めることができました。これは各校でのＰＴＡ活動の経験がとても大きいのではないかと思います。

こうして出来上がりました「ＰＴＡよこはま」、皆様に楽しんでいただけたら幸いです。

企画会議で知恵を絞る広報委員たち